

31-0753 W68-6

チャ (*Camellia sinensis*) 種子の機能性成分 (2) -theasaponin B₁, B₂, F₁-F₃ の化学構造および生物活性-

吉川 雅之¹, ○森川 敏生¹, 李 寧¹, 松田 久司¹ (¹京都薬大)

【目的】先の発表に引き続き、チャ(*Camellia sinensis*)種子サポニン分画を精査し、成分探索を実施した。

【方法・結果】*C. sinensis* 種子メタノール抽出エキスのサポニン分画について、詳細に成分探索を実施した結果、新たに **camelliagenin B** をアグリコンとする 2 種の既知サポニン **camelliasaponin B₁** および **assamsaponin A** を単離、同定するとともに、**theasapogenol B (= barringtogenol C)** をアグリコンとする 2 種の新規サポニン **theasaponin B₁, B₂ (1, 2)** や新規アグリコンを有する 3 種のサポニン **theasaponin F₁-F₃ (3-5)** などを単離、構造決定した。これらの新規サポニンの構造は、NMR をはじめとした各種物理化学データの詳細な解析によりその絶対構造を決定した。また、チャ種子サポニン分画およびサポニン成分について実施した生物活性試験の結果についてもあわせて報告する。

